



報道関係者各位

2026年6月29日(月)

この夏、未来へのパスポートを手に入れよう。 デジタルハリウッド大学 [DHU] 夏のオープンキャンパス 2026



【Day1】7月19日(日) 13:00～17:00

テレビアニメ「百姓貴族」監督を務める卒業生による特別講演

文部科学省認可の株式会社立の大学として、デジタルコンテンツと企画・コミュニケーションを学ぶデジタルコミュニケーション学部(4年制大学)と、理論と実務を架橋し新たなビジネスを生み出すデジタルコンテンツ研究科(専門職大学院)を設置するデジタルハリウッド大学(DHU、所在地:東京・御茶ノ水、学長:藤井直敬)では、「夏のオープンキャンパス2026」Day1を、2026年7月19日(日)に開催します。

春・初夏・夏・秋と、季節ごとにオープンキャンパスを開催しているデジタルハリウッド大学(以下、DHU)。夏のオープンキャンパスでは、毎年、業界の第一線で活躍しているゲストによる特別講演、最新のデジタルクリエイティブを体感できる体験授業、在学生による作品紹介やサークル・有志による企画・展示などを実施しています。

2026年度も豪華な外部ゲストによる特別講演と、DHUのオープンキャンパスを盛り上げる在学生チーム「キャンパスPRプロジェクト」による会場演出を行います。エンタテインメントあふれるDHUのオープンキャンパス、ぜひご注目ください。

【見どころ解説】

■注目①テレビアニメ「百姓貴族」監督を務める卒業生による特別講演(Day1[7/19])

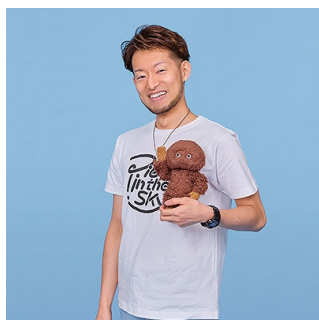




夏のオープンキャンパス Day1(7/19 開催)では、本学卒業生の澤田裕太郎氏(2009 年卒)を迎え、メイキングセミナーを開催します。澤田氏は、荒川弘によるエッセイ漫画「百姓貴族」の TV アニメシリーズの監督を務めており、制作の裏側はもちろん、作品づくりへのこだわりについてお話しいたします。ショートアニメ制作をはじめとしたこれまでのキャリアや、DHU 在学中のエピソード、クリエイターとして活躍するために必要な考え方について講演いただきます。プロの現場で活躍する卒業生から、アニメ制作の魅力やクリエイターとしてのキャリア形成について学べる貴重な機会です。



▽澤田裕太郎氏



ショートアニメ監督。デジタルハリウッド大学に1期生として入学後、映像制作技法を学ぶ。自主制作のコマ撮りアニメが映画祭で受賞したことをきっかけに、在学中から映像制作業務を多数経験。卒業後はフリーランスとして活動したのち、2017年に株式会社 Pie in the sky に入社。軽快なテンポ感を持たせた演出を得意とし、NHK みんなのうた「お米かくれんぼ」「ポケモン KidsTV」などの監督、撮影編集などを担当。

最新作はテレビアニメ「百姓貴族」(原作:荒川弘)。

■注目② 業界の第一線で活躍する実務家教員による体験授業(Day1[7/19])

デジタルコンテンツと企画・コミュニケーションを1学部1学科の中で幅広く学べるDHU独自のカリキュラム。その魅力を体感いただくため、3DCGやVRなど4つの体験授業を実施します。通常の授業は90分で行われますが、今回は30分のショートバージョンでお届けします。

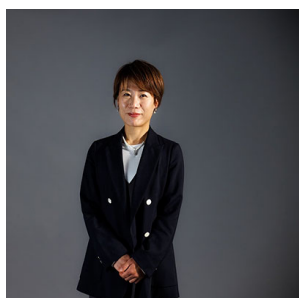
▽担当講師

《3DCG》古岩 祥幸先生



デジタルハリウッド東京本校総合 ProCG コースを卒業後、株式会社ポリゴン・ピクチュアズでレイアウト、キャラクターアニメーションを担当。そのかわりでデジタルハリウッド東京本校の講師も務める。2014年5月より本学にて教鞭をとる。

《心理学》吉田 彩衣子先生



大正大学卒業後、株式会社ニチイ学館に入社し、介護保険事業や障害福祉サービスの立ち上げ、教育講座の企画開発など、様々な新規事業の立ち上げに関わる。障害福祉サービス立ち上げの際に、精神障害だけはやりたくないという根強い反対にあったことから逆に興味を持ち、精神保健福祉士を取得して独立。現在は、企業向けに心の健康を大事にした制度づくり、働くメンタル不調者の個別のケアや、セルフケア・ラインケア研修、コミュニケーション研修等を実施。





《リアルタイム映像合成》クリストファー ハンス エカート先生



1994年のデジタルハリウッド設立初期から東京での基盤作りに貢献し、1997年のサンタモニカ校(DHIMA)開校時には教務ディレクターに就任。現在はフリーランスとして、AIやバーチャルプロダクションを統合した次世代の映像制作を追求。Otis College of Art and Designの教授も務め、30年以上にわたり業界の第一線で教育と制作の両立を続けている。

《漫画×AI》茂出木 謙太郎先生



東京造形大学卒業後、(株)トミー(現タカラトミー)に入社。その後広告代理店を経て、1995年に(株)IBMの子会社に入社。文化庁による文化財多言語解説整備事業にて、仏師運慶を中心としたVR発願体験等のコンテンツ制作を行う。コロナ禍より以前から、遠隔でのVR技術による授業参加の可能性に注目。アバターによる会議参加システム「NICE CAMERA」を開発。デジタルハリウッド大学大学院および京都精華大学大学院にて修士号を取得。

* Day2[8/23]特別ゲスト・体験授業ラインナップは7月上旬以降順次公開予定。

■注目③ 行き先を見つけ、新しい目的地へと飛び立つ場所、空港。

夏のオープンキャンパスでは、毎年イベントコンセプトを設けています。2024年度は「RPG」(=1日を通してレベルアップできるオープンキャンパス)、2025年度は「タイムトラベル」(=大学開学20年、過去から未来の時間と空間を超えた体験できるオープンキャンパス)でした。

今年コンセプトは、「空港」。多様な人々や価値観が交わり、新しい世界への入口となる空港のように、多彩な学びや進路の選択肢に出会えるDHU。変化し続ける社会の中で、自分の興味や可能性を広げながら、これからの自分がどんな未来へ向かうのかを考え、新しい入口となる。そんな新たな発見と出会いの機会を、来場者の皆さまにお届けします。

毎年イベントコンセプトの発案から、それに紐づく会場内の企画・運営を担当するのが、DHUのオープンキャンパスを盛り上げる在学生チーム「キャンパスPRプロジェクト」です。会場装飾、作品展示、在学生相談ブース、オンライン参加者向け企画など、DHUの魅力を最大限伝えるべく、学生主導で多種多様なコンテンツを鋭意制作中です。ご期待ください！

▽キャンパスPRプロジェクト



DHUの学内インターンシップ。オープンキャンパスをはじめとするDHUの広報活動の企画・運営に携わることを通じて、「高校生・受験生への適切な情報発信を行う」「大学のことをよく知り、学生生活を充実させる」「社会人スキルを身につけ、学外インターンや就職活動へつなげる」ことを目的に活動しています。2026年6月現在、9期生7名が活動中！

Instagram : @dhucprp





【夏のオープンキャンパス 2026 開催概要】

開催日時：

〈Day1〉7月19日(日)13:00-17:00

〈Day2〉8月23日(日)13:00-17:00

* Day2[8/23]特別ゲスト・体験授業ラインナップは7月上旬以降順次公開予定。

開催形式：

来校[駿河台キャンパス]

オンライン[YouTube Live、Zoomによるライブ中継]

詳細・申込：

「夏のオープンキャンパス 2026」イベントページよりお申し込みください。

<https://www.dhw.ac.jp/news/summeroc2026/>

注意事項：

* 〈来校〉は、定員を設けているため【完全予約制】です。予約のない方および当選者以外の方の来校はできませんのでご了承ください。

* 来校参加希望の方は、イベントページからお申し込みください。なお、定員に達し次第、受付終了いたします。何卒ご了承ください。

* オンライン参加希望の方は、オープンキャンパス前日までに「イベント予約」をお済ませください。オープンキャンパス当日12時までに視聴用URLを登録先のメールアドレスにお知らせいたします。

お問い合わせ：

デジタルハリウッド大学 入試事務局

nyushi@dhw.ac.jp

【昨年(夏のオープンキャンパス 2025)の様子】

▽アフタームービー

<https://youtu.be/PYBwWyGzrPw?si=OBhj5xRyw0xDVA2M>

▽開催レポート

https://www.dhw.ac.jp/news/20250919_summeroc2025/





△YouTube Live での生中継（卒業生・在学生による映像配信）



△PC を用いたデジタル制作体験



△現役プロによる体験授業





△ワークショップ(ミニオータム・トライアウト)



△ポートフォリオ展示&相談コーナー

【デジタルハリウッド大学 [DHU]】

<https://www.dhw.ac.jp>

2005年4月、文部科学省認可の株式会社立の大学として東京・秋葉原に開学(現在の所在地は東京・御茶ノ水)。デジタルコミュニケーション学部(4年制大学)とデジタルコンテンツ研究科(専門職大学院)を設置している。

2026年4月、二代目学長に藤井直敬が就任。初代学長・杉山知之が示した「すべてをエンタテインメントにせよ」を拡張し、新たな教学ヴィジョンとして「世界を満たせ」を掲げる。

デジタルコミュニケーション学部では、不確実で予測不能な未来を自分らしく生き抜く力を身につける。デジタルコンテンツ(3DCG/VFX、VR/AR、ゲーム、映像、グラフィック、Webデザイン、メディアアート、プログラミング等)と企画・コミュニケーション(ビジネスプラン、マーケティング、広報PR等)を産業界の第一線で活躍する教員から幅広く学べる一学部一学科制を採用。さらにグローバル人材を育成するために外国語の重点的な学習プログラムを備え、留学を推進している。世界46か国・地域出身の学生が在籍し、御茶ノ水駅前で多様性に富むキャンパスを運営している。

デジタルコンテンツ研究科では、超高度情報化社会においてデジタルコミュニケーションを駆使し、社会に変革を起こすリーダーを輩出すべく、創発的学術領域 [SEAD (Science / Engineering / Art / Design)]



の4要素をバランス良く身につけ融合し、理論と実務を架橋する人材育成を行う。新規事業プランニングとプロトタイピングなど、院生のアイデアの実装およびスタートアップ支援により「令和7年度大学発ベンチャー調査」(経済産業省)では全国大学中17位、私立大学7位となっており、多数の起業家を輩出している。

【当プレスリリースに関するお問い合わせ】

デジタルハリウッド株式会社 広報室: 川村

mail: press@dhw.co.jp

TEL: 03-5289-9241

デジタルハリウッド公式サイト: <https://www.dhw.co.jp/>

過去のプレスリリース: <https://www.dhw.co.jp/press-release/>

